



センター三方の検診風景

問 滞納他諸問題の解消を

答 相談に応じ対処します



大倉 澄子

問 納税奨励金・前納報奨金の廃止は、納税義務意識の低下に繋がります。割引額を下げてでも以前のように制度とする考えはありませんか。徴収員制度による回収実績効果や滞納繰越額は、厳正公正な滞納処分や収納業務はできていますか。

市長 合併協の中で3年後廃止と決定しました。

電話催促1600件、職員一斉訪問などで8300万円、嘱託員によるもの約9600万円です。滞納額は19年度約4億5000万円で一般会計にしろる割

合は2.0%、市税に対しては9.1%です。

問 特定検診会場減の波賀・一宮北部管内での検診状況や反応、マイクロバス利用者数は、繁盛地区はセンター三方まで行く負担を強いられ、見捨てられるのですか。来年度の検討を求めます。

市長 中央集約の意図はありません。

福祉部長 コンピューターシステム管理、駐車場問題などで減になりました。マイクロバスは波賀で平均20名、一宮で7〜8名程度。対象者限定のお知らせにより特に苦情・混乱はありませんでした。実施状況検証の上、体制を整えます。

問 上下水道工事後の騒音が著しい場所の環境整備は。

水道局長 現地調査し、早急に対処します。

問 新庁舎周辺整備は進んでいるか

答 時間がかかるが進めたい



千原 生造

問 新庁舎の周辺整備は進められていますか。特に河川改修、山田交差点についてお聞かせ願いたい。又、改良ができないのであれば県道に右折だまりを考えてはどうか。

市長 山田交差点については国道であり、なかなか国も交差点改良の許可を残念ながらしてくれない。一方の道は県道であり県も道路の改修には応じてくれないが、今後とも重要課題として、県と話し合い

一日も早く改良ができるよう努力します。河川改修については、穴栗橋より元の裁判所の間を今年より6年間で整備する予定で進めています。

問 都市計画道路船元加生線について、市長は3月議会

で地権者の皆様には多大な迷惑をかけているが、理解していただく努力をすると申されたが、その後どのような努力をされたのか。

市長 誠に申し訳ないが地権者の皆様にはまだお

会いできていない。中井段地区の区画整理に賛成が得られず迷惑をかけていますが、市としては年月をかけても進めたい。その為に地権者の皆様説明に向くよう申されるならいつでも伺わせていただきたい。



混雑する交差点